

公表

事業所における自己評価結果

事業所名		あいさい わかば			公表日		令和7年3月28日	
		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点		
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	89%	11%	基準を満たすだけでなく、活動に支障がでない広さを確保できるようクラスの人数を調整しています。	親子療育では、活動に制限がないよう1クラスの人数に配慮します。		
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	100%	0%	支援不足、過剰支援にならないよう利用者に合わせて職員配置を調整しています。			
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	89%	11%	余分な刺激を入れない環境整備、絵カードなどを活用した見通しが持てる視覚支援を行っています。	未歩行のお子さんや医療的ケア児への受け入れについての検討が必要だと考えています。		
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	100%	0%	活動に合わせて部屋を使い分けています。			
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	89%	11%	使用していない部屋は、いつでも使用できる状態にしています。	クールダウンの方法を職員全体で共有していきます。		
業務改善	6	業務改善を進めるための PDCA サイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	89%	11%	こどもの支援に携わる職員から意見を聞いて、目標設定や振り返りを行っています。	勤務時間や勤務日が異なる職員の情報共有、提供や情報収集に努めていますが、まだ十分ではないと考えています。		
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	100%	0%	保護者様からの意見を真摯に受け止め、環境改善につなげるよう努めています。			
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	100%	0%	スタッフ会議を設けており、意見や考えを吸い上げ、改善策を話し合っています。			
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	50%	33%		第三者評価は実施していません。実施が可能なか検討してまいります。職員への周知も行ってまいります。		
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	94%	6%	研修に参加できるよう配慮し、参加できなかった職員への共有にも努めています。	研修受講の時間の確保に苦慮しています。		
適切な支援の提供	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	94%	6%	利用者様にも職員にも伝わることを意識して作成しています。			
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか。	100%	0%	定期的に担任と懇談を行い、保護者様のニーズとこどもの状況を把握し、計画作成を行っています。			
	13	児童発達支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	100%	0%	こどもに関わるスタッフで支援会議を行い、こどもに対する共通理解や目標設定を行っています。			
	14	児童発達支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	100%	0%	計画がいつでも確認できるようにしています。支援の振り返りも計画を意識して行っています。			
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	83%	6%	Vinelandを活用しています。	どの職員でも行えるアセスメントの方法を整えていくことに努めます。		
	16	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	94%	6%	同じ認識をもって支援にあたることできるよう具体的に支援内容を設定し、記載するようにしています。	家族支援、移行支援、地域連携の支援内容の設定も本人支援と同様に設定できるよう努めます。		
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	100%	0%	複数の職員で、プログラムの実践と改善を繰り返し、活動プログラムの立案を行っています。			
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	94%	0%	定期的に主活動を変更しています。こどもの状態に合わせて楽しめるプログラムを考えています。			

	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせて児童発達支援計画を作成し、支援が行われているか。	89%	0%	こどもが必要とするスキルを決めて、その習得に合わせた支援が行えるよう努めています。	
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	94%	6%	毎日打合せを行い、共通認識をもって支援にあたることができるよう努めています。	利用児が日々変わる状況で、職員が明確な役割と目的を持って支援にあたれるような体制づくりに努めます。
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	100%	0%	クラスに入った職員で毎日振り返りの時間を持ち、支援目標に関する事項を中心にこどもの姿を共有しています。	
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	94%	6%		支援の検証・改善につなげられる効果的な記録のとり方と更なる活用を模索していきます。
	23	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	100%	0%	定期的に保護者と懇談を行い、達成度の確認や計画の見直しを行うだけでなく、今後の方向性も確認しています。	
関係機関や保護者との連携	24	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	94%	0%	担当者会議には、児童発達支援管理責任者や担任が出席するようにしています。	
	25	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	94%	6%	お互いに連携できるよう日頃から関係づくりに努めています。	医療との連携が弱いと感じています。
	26	併行利用や移行に向けた支援を行うなど、インクルージョン推進の観点から支援を行っているか。また、その際、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	89%	11%	こどもの発達年齢や段階に応じて移行や併行利用を促しています。	担当者会議などを活用し、園、事業所、保護者で共通認識が持てるよう努めます。
	27	就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	89%	11%	学校見学への同行を行い、保護者とともに学校への情報提供を行っています。	必要な情報提供や相互理解が行えるよう関係づくりに努めます。
	28	(28～30は、センターのみ回答)				
		地域の他の児童発達支援センターや障害児通所支援事業所等と連携を図り、地域全体の質の向上に資する取組等を行っているか。	56%	22%	自立支援協議会の発達支援部会を活用し、課題等の情報収集に努めています。	地域の事業所等との関係づくりを進めていきます。
	29	質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等から助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。	78%	11%	活用できるものを使用し、質の向上に努めています。研修に参加しなかった職員への情報共有を行っています。	研修参加の時間と機会の確保に努めます。
	30	(自立支援)協議会こども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか。	67%	11%	できる限り参加できるよう調整をしています。	障害児支援の中核的役割が果たせるような関わり方に努めてまいります。
	31	(31は、事業所のみ回答)				
		地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや助言等を受ける機会を設けているか。				
	32	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、地域の中で他のこどもと活動する機会があるか。	72%	22%		園との併用をしているこどもが多く、他のこどもと交流がないわけではありませんが、センターとして交流する機会は設けられていません。
	33	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	100%	0%	通所された日は、その日の様子を保護者に丁寧に伝えるように心がけています。	
	34	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	94%	0%	親子療育を行っており、日頃の支援の中で保護者の対応の仕方について、ともに考えています。	
	35	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	94%	0%	見学时や契約時に丁寧にわかりやすい言葉で説明するよう努めています。	
	36	児童発達支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	100%	0%	こどもの姿を把握したうえで、保護者の意見を伺い、今できること、必要なことを共通認識できるよう努めています。	
	37	「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか。	100%	0%	丁寧な説明を心がけています。	
	38	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	100%	0%	3か月に1回懇談を実施しています。保護者の様子が普段と異なる場合は、こちらからお声がけをするように努めています。	

保護者への説明等	39	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	94%	0%	親子療育では、保護者同士で話ができる機会を設けています。	きょうだい同士で交流する機会までは行えていません。
	40	こどもや保護者からの相談や申し入れについて、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、相談や申し入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	100%	0%	保護者からの相談や申し入れは、スタッフ間で速やかに共有し、対応するように努めています。	
	41	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	94%	6%		情報を適切に伝えることができる情報発信の方法を考えていきたいと考えています。
	42	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	94%	6%	課せられた義務を毎年確認するようにしています。保護者には、関係機関には情報共有させていただく旨の承諾を得ています。	提供する個人情報の範囲を定めておく必要があると考えています。
	43	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	100%	0%	わかりやすい言葉遣いや視覚的に理解できる方法を取り入れるように努めています。	外国籍のこどもや保護者との意思疎通の仕方を研究する必要があると考えています。
	44	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	28%	56%		利用児に与える影響も配慮しつつ、地域との関係づくりを考えていきます。
非常時等の対応	45	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	100%	0%	実施する訓練の内容と日にちを決め、訓練想定を変えながら実施しています。	
	46	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	100%	0%	訓練想定を考慮して訓練を行い、実施後は、振り返りを行い、災害への備えにつながるようにしています。	
	47	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	100%	0%	契約時に確実に確認するようにし、日頃から保護者との情報共有に努めています。	
	48	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	100%	0%	アレルギーの情報を職員で共有し、朝の打合せでもその日の給食の食材について確認を行っています。	
	49	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	100%	0%	事態に速やかに対応できるよう計画を立てて訓練を実施しています。	
	50	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	94%	6%	安全計画は、指導室内に整備し、いつでも確認できるようにしています。	
	51	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	100%	0%	事象が生じた場合は、速やかに共有するとともに、記録した内容を分析し、再発防止に努めています。	
	52	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	100%	0%	研修等で意識を高め、風通しのよい職場環境づくりに努めています。	
	53	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	94%	0%	身体拘束を行わなくてもよい支援を心がけています。	